

技術・家庭科

技術・家庭科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎的な知識・技能を身に付けて、生活の課題を解決する力を付ける。	よりよい生活や持続可能な社会に向けて、工夫し創造する力を付ける。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心や、家庭生活の中での体験の差が大きく、理解して作業をするのに時間がかかる。(共通) ア 作品づくりの中での工夫や創造が苦手な生徒が多い。(共通) イ 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活に結びついた具体的な事例を挙げる。実物や写真など視覚的な教具を多く用い、理解をさせる。完成するまでの作業時間の確保をする。(共通) ア 作品の製作で、自己表現ができる題材を取り上げる。また、新たな工具や機械を使って、工夫して製作できることを知らせる。(共通) イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 5月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> 実物見本や写真の活用により視覚的に説明したので、生徒の理解力が高まり、作業能率の向上が図れた。(共通) 個別指導を通して、作品への自己表現ができるように助言をしたことで、製作作品の工夫が見られた。(共通)
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 意欲や技能に差がある。(共通) ア 説明書の読み解きや作業に時間がかかる。考えて表現することが難しい。(技) イ 小学校から調理実習の体験が少なく、家庭での実践も少ない。(家) ア・イ 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎事項を反復させ、定着を図る。(共通) ア 専門用語を分かりやすく説明する。実物見本を見せヒントを与え、個別指導を行う。(技) イ 基礎を丁寧に教え実習を行う。家庭でも実践しできるような課題を出す。(家) ア・イ 	<ul style="list-style-type: none"> 5月～3月 通年 	<ul style="list-style-type: none"> 実物見本の活用により、生徒の理解力が高まり、作業能率の向上が図れた。(技) 長期休業で料理を行う課題や包丁使用の課題を出した。事前に皮むきの師範をし、練習させたことで、技能面の向上を図ることができた。(家) 調理実習後、タブレット端末を活用し、献立作成の自己診断をさせることで、自分の食生活の改善点を見つけることができた。(家)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎を生かした応用課題になると作業が進みにくい生徒がいる。(共通) ア 実習課題を自ら進んで工夫することが苦手な生徒が多い。(共通) イ 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用し、基礎の確認をしてから応用課題へつなげる(共通) ア 実習課題に合わせた具体的な実践例を示すことで、アイデアを引き出せるように指導する。(共通) イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 5月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の発想を作品に反映できるように実践例を示したことで各自の作品により工夫が見られた。(共通) 大根栽培を行い、食品ロスや持続可能な社会について考えさせるとともに、実践力を身につけた。(技) 調理実習を通し、栄養バランスの理解が深まり、技能が向上した。幼児に対する配慮や事故について考えられた。保育について将来の展望をもたせることができた。(家)

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p>
<p>1年 インターネットを活用した情報の収集と整理。(共通)【重点:個別】 2年 インターネットを活用した情報の収集・整理。掲示物作成(共通)【重点:個別・協働】 3年 インターネットを活用した情報の収集と整理(共通) 【重点:個別・協働】</p>	<p>1年 学習の振り返りシートの活用やワークシートの記入。 2年 学習の振り返りシートの活用やワークシートの記入。家庭での実践レポート。 3年 学習の振り返りシートの活用や学習ノートやワークシートの記入。</p>